

第
13
号

ゆやま

令和6年1月9日
松山市立湯山中学校



【学校の教育目標】 **笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成**

2024年のスタートです。今年の干支(えと)は、「甲辰(きのえ・たつ)」です。「甲」は十干(じゅっかん)の一つで「第1、優勢」を表し、「辰」は十二支(じゅうにし)の一つで龍を表しています。龍は水や海の神としてまつられ、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられています。したがって、「甲辰」には、「成功という芽が成長していき、形が整う」といった縁起のよさを表していると言えます。

2024年のスタートは、3学期のスタートでもあります。下記の学年代表生徒の作文を読むと、それぞれの学年がこの3学期に何をなすべきかを明確につかんでいることが分かります。本当に頼もしく感じます。さあ、準備万端整えて、4月から始まる新しいステージへと進んでいきましょう。

【いじめ0ミーティング】



【全日本アンサンブルコンテスト愛媛県大会中予地区予選】



冬休みの反省と3学期の抱負

「3年生として」

3年2組 生徒代表

私は冬休みに決めた目標がありました。「毎日8時間以上勉強すること」と「毎日の生活リズムを整えること」です。

毎日8時間の勉強は、年末年始の行事等で時間が減ったこともありましたが、学校での学習相談3時間、家庭では午後4時間程度、夕食後、集中して2時間程度という、1日9時間の勉強を10日以上頑張ることができました。冬休みのこの努力が受験に繋がるようにこれからも継続していきたいです。もう一つの目標である、毎日の生活リズムを整えるために、決まった時間に起床し、冬休みのしおりで計画していた1日の生活時間帯を守って過ごしていききました。規則的な生活は受験生にとってとても重要なポイントです。健康を維持して受験に臨めるように、良い生活のリズムを続けていきたいです。

3学期は、いよいよ入試本番がやってきます。これまでに続けてきた休み時間の受験勉強を、学級委員長として、みんなとともにグレードアップして、「受験はチームワーク」を合言葉に、全員で受験に立ち向かっていきたいです。

そして、勉強とともに、中学校生活最後の思い出づくりもしていきたいです。2年間続けてきた「お別れクラスマッチ」や「卒業文集」、後輩へ受け継いでほしい「はーとのなる木」や「湯山中ゆっぴーガーデン」のお世話、学校への感謝を込めた「奉仕活動」など3年生全員で取り組めたらいいと考えています。限られた時間の中でできることからしていきたいです。そして、私たちにとって最後の行事となる「卒業式」が、一生の思い出に残るものになるよう、自分たちもアイデアを出し、手づくりの卒業式にしたいです。

3学期は後輩たちへバトンを渡す時です。3年生として、受験も学校生活も、最後まで全力で取り組む姿を見せ、湯山中生としての誇りを持って、3年間を締めくりたいと思っています。2024年、新しい年が始まります。湯山中生全員で伝統を繋ぎ、そして新しい伝統を創っていきましょう。

最後に教室にいる皆さん全員で、新しい年を迎えた節目に、声を揃えて新学期のスタートを切りたいと思います。一緒に湯山中のスローガンを声に出して言ってみましょう。それでは私の後に続いて行ってください。

「ふっと」(ふっと)、「ほっと」(ほっと)、「はーと」(はーと)「湯山」(ゆやま)「頑張るぞー!」(頑張るぞー!)

ありがとうございました。みんなで良い年にしましょう。

「2023年の反省と2024年の抱負」

2年1組 生徒代表

2023年は振り返ると、激動の一年でした。新型コロナウイルスによる制限が少しずつ緩和され、やりたいことに思う存分挑戦できるようになったことで、学校の雰囲気も明るくなりました。

その中でも、特に体育大会は忘れられない思い出です。学年種目の練習中、はじめはうまくいかない事や、仲間同士のすれ違い、失敗が多くありました。しかし、学級担任の先生がよく口にする、「学級のみんなが無理に仲良くなる必要はない。でも、協力すべき時に協力できる集団になろう」という言葉を思い出し、みんなで協力し、試行錯誤することを通じて、最高のパフォーマンスを引き出すことができました。そのかいあって、体育大会本番ではみんなが一丸となって目標を達成し、僅差(きんさ)で勝つことができました。うまくいかないことや苦手なことにも不満を言わず、みんなが協力したおかげだと思います。また、先生から任せていただいた演技・出発の役割も責任を持って果たせたことは、自信に繋がるものでした。学級のためにも、全体のためにも全力を出せた体育大会は本当に思い出に残るものとなりました。

そして、今から迎える2024年は、私たちにとって新たな節目の年です。3年生に向けて責任が増し、大人へと一歩近づく少年の日へ向けての準備が始まります。これまで3年生を支える立場だった僕たちが、今度はリーダーとして新たな立場からリードすることが求められます。その準備として大切なこの3学期。4月から勇往邁進(ゆうおうまいしん)するため、今までの経験を生かして立派なリーダーとなれるよう頑張ります。そして、3年生はすべての行事が最後の年です。部活動で学んだ、本気でやるからこそ感じられる楽しさや達成感を他のことにも生かし、悔いの残らないように全力で楽しみ、思い出に残していきたいです。さらに、勉強においても、前年よりも成績を上げることが目指し、努力を惜しまず頑張ります。

「冬休みの反省と3学期の決意」

1年2組 生徒代表

これまでの中学校生活の中で、僕には大きく、足りないものがあります。それは「挑戦」です。

何かの役割を決める時も、自分から手を挙げることができません。授業中の挙手も、完璧な自信がないとためらってしまいます。でも、こんな自分を変えたいという思いが大きくなってきました。僕のあこがれのバレーボール日本代表の高橋藍(たかはし らん)選手は、人前で、自分の大きな目標をあえて口に出すそうです。そうすることで責任感や覚悟を固めているという話を聞きました。挑戦した先に成長した自分がいるのです。今までの僕は、努力することは苦手ではないものの、人前で失敗することがすごく嫌でした。だから、高橋選手のように、ここで僕の決意を発表することで、弱い自分を変えたいと思います。挑戦して、失敗することは決して悪いことではありません。失敗するのは当たり前、挑戦している証拠だからです。

僕は、3学期、学級委員長になりました。リーダーシップをとるために、自分から積極的に呼びかけの声を出します。

僕が所属しているバレーボール部の宮内先輩は、常に指示を大きな声で出して、チームを活気づけてくれています。ボールが繋がるだけでなく、気持ちを繋げてくれています。もうすぐ2年生になるので、声を出してチームの雰囲気を盛り上げる役割を僕もしっかりやろうと思います。

冬休み中の学習面では、僕は「挑戦」ができたと思います。理科や数学の苦手なところや間違ったところをワークの解説を読み込んで、やり方を理解し、もう一度解き直してみました。これを毎日続けることで、苦手を克服できたという自信ができました。3学期は、テスト範囲も広くなり、より難しくなってくると思うので、今まで以上に効率よく、集中した家庭学習が必要です。僕は、家庭学習で集中力が続かないという欠点があります。そのため、50分間、時間を計って継続し、10分休むというリズムができるよう頑張ります。

3学期は、先輩になるための準備期間です。1年生を引っ張っていけるようなリーダーシップを備えた先輩になりたいです。そのために、「挑戦」を常に胸において、一日一日を大切に着実に過ごしたいと思います。